

## 『ふろむ・マラウイ』～番外編2 命の水～

29th /February/2016 第39号

Muli bwanji ! (ムリブワンジ: チェワ語でこんにちは、ご機嫌いかがの意)

マラウイでもっとも重要な飲み物は何だと思えますか？

『カールスバーグ (ビール)』? 『チブク (マラウイの伝統的なお酒)』? マラウイ隊員のほとんどは『ファンタ』と答えるでしょう。ファンタ (特にオレンジ) は、食事の時、会議での休憩時とマラウイでは欠かせない飲み物です。隊員が活動中に水を切らしてしまった場合、水は売って無くともファンタはどんな村に行ってもだいたい売っています。渇き、疲れた体に甘いファンタが染み渡る感覚は、ほとんどの隊員が体験したことだと思います。マラウイアンにとっても、隊員にとってもまさに『命の水』です。

また、マラウイ国内の一般的な経済状況を見るのに、良い指標になる商品の一つです。

2016年1月現在の値段は1本 200MK (マラウイクワチャ) でした。5~6年前は80~120MK であったので、相当な値上がりです。しかし、日本円に換算すると40円程度で、日本円では以前とそれほど価格は変わっていません。その原因は、貨幣価値が下落し続け、国内もインフレ傾向にあることです。日本人にとっては、さほど影響がなくとも一般的なマラウイアンにとっては、非常に問題がある状況でしょう。もしかすると、気軽に飲める感じではなくなっているかもしれません。フレーバーも私が隊員の時(2011~2013年)は、オレンジ、パイナップル、エキゾチック、パッションフルーツとありましたが、2016年1月現在では、オレンジとパイナップルのみ確認できました。

マラウイのソウル・フードの一つであるファンタをみんなが安心して飲めるような経済状況に落ち着くといいなあと、ソボ・チェリープラムを飲みながら考えていました。



マラウイ人気ソフトドリンク(左からファンタパイナップル, オレンジ, ソボ・チェリープラム, ココピナ)



国内にビール工場があります



チブク(メイスと雑穀で作るとぶろく)